

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成27年1月29日(2015.1.29)

【公表番号】特表2013-546003(P2013-546003A)

【公表日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-069

【出願番号】特願2013-544856(P2013-544856)

【国際特許分類】

G 01 N 27/447 (2006.01)

G 01 N 27/26 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/26 3 3 1 B

G 01 N 27/26 3 3 1 C

G 01 N 27/26 3 0 1 A

G 01 N 27/26 P

G 01 N 27/26 3 3 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月3日(2014.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

電気泳動測定方法であって、

分散剤を保持する容器を提供する工程と、

前記分散剤中に浸漬された第1電極を提供する工程と、

前記分散剤中に浸漬された第2電極を提供する工程と、

前記第1電極と前記第2電極の間の分散剤内の位置に、両電極から分離された状態で試料を配置する工程と、

前記第1電極および前記第2電極にわたって交流電界を印加する工程と、

前記試料に時間的にコヒーレントな光を照射する工程と、

前記交流電界を印加する工程中に前記試料と相互作用した、前記照射する工程による光において周波数シフトを検出する工程と、

前記検出する工程の結果に基づいて、前記試料の特性を導出する工程と
を含む方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

前記検出する工程は、前記交流電界が印加された状態で相当量の前記試料が前記第1電極および前記第2電極のいずれかまで拡散し得る時間よりも短い時間で行われる、請求項1に記載の方法。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項12

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

電気泳動装置であって、

容器と、

第1電極と、

第2電極と、

試料位置と前記第1電極との間の第1拡散バリアと、

前記試料位置と前記第2電極との間の第2拡散バリアと、

前記試料位置を照射するために配置される時間的にコヒーレントな照射光の光源と、

前記試料と相互作用した後の前記試料位置からの照射光を受け入れるように配置される周波数シフト検出器と

を含む装置。